

# MOT アニュアル 2027 身を通す

2027 年 2 月 20 日（土）－5 月 30 日（日）

現代美術の現在を見つめ、新たな視点を提示するグループ展「MOT アニュアル」は、今回で第 21 回を迎えます。本展では、小林勇輝、ハラサオリ、乾真裕子、筒 | tsu-tsu の 4 名のアーティストを紹介します。武術、振付、歌唱、演技など、異なる表現を通して、過去にまつわる記憶を自らの身体で捉え直し、そこから生まれる知を制作へとひらいていきます。

身体を通して培われる知には、言葉や記録だけでは捉えきれない感覚が含まれています。それは完成された技術として固定されるものではなく、行為として反復されるなかで、そのつど新たなかたちへと変化していきます。「身を通す」とは、過去や他者を自らの身に引き受け、その身体を通して、世界との関わり方を組み替えるための術（すべ）です。

4 名のアーティストは、武術の系譜や家族の歴史、民話の語り、他人の人生などを手がかりに、聞き取りやフィールドワーク、資料調査などに加え、身体を通した探求を重ねながらリサーチを行っています。それぞれが向き合う記憶は、動きや声、身振りなどを通して作品へとつながり、映像、インスタレーション、写真、ドローイングなど、さまざまな表現へと展開されます。

本展では、新作を中心とした作品展示に加え、会期中には 4 名のアーティストそれぞれによるパフォーマンスと、共同制作によるパフォーマンスを実施します。

あわせて、共同制作に向けた対話や試行の過程も映像作品として紹介します。展示とパフォーマンスが呼応する構成のなかで、アーティストが積み重ねてきた実践が、それぞれの身体を通することで、いまどのような表現として現れるのかを示します。

\* 「MOT アニュアル」は、1999 年の第 1 回展以来、異なる文化や表現領域が混合する空間としての東京に拠点を置く東京都現代美術館ならではの視点から、日本の若手作家の作品を中心に、現代美術の一側面を切り取り、問いかけや議論のはじまりを引き出すグループ展です。



0

お問い合わせ：東京都現代美術館 事業企画課 企画係 広報班 工藤・内堀・永田・大塚

TEL：03-5245-1134（直通）/ FAX：03-5245-1141

E-MAIL：mot-pr@mot-art.jp URL：https://www.mot-art-museum.jp

※開催内容は、都合により変更になる場合がございます。

## みどころ

### ○4名のアーティストによる新作

本展では、複数の表現領域に関わりながら活動してきた**小林勇輝**、**ハラサオリ**、**乾真裕子**、**筒 | tsu-tsu**の4名が、それぞれの身体的な実践をもとに制作した新作を中心に紹介します。身体を通した探究を、映像、インスタレーション、写真、ドローイングなど、多様な作品へと展開します。

### ○空間と身体が交わる展示構成

本展の空間構成は、アーキテクト・コレクティブの**ガラージュ**（小田切駿、瀬尾憲司、渡辺瑞帆）が担当します。建築を軸に映像やフィールドワークなどを横断して活動するガラージュは、時間や身体との関係から建築を捉えています。本展では、作品と空間が観客の動きや時間のなかでゆるやかに結びつく展示を構成し、身体を通して作品を体験する場をつくります。

### ○個と共同によるパフォーマンス

会期中には、各アーティストによるパフォーマンスを行います。さらに、4名が対話や試行を重ねて共同で制作するパフォーマンスを発表します。異なる身体的な実践が交わり、ひとつのパフォーマンスとなっていく会期前の制作過程を捉えた映像（映画）作品も展示します。映画作家／アーティストの**池添俊**が制作に寄り添い、4名のあいだで交わされる言葉や身振りを記録します。

## 出品作家

### 小林勇輝 Yuki Kobayashi

中国南部の伝統武術「詠春拳（えいしゅんけん）」を起点とする《詠春拳プロジェクト》の一環として、地域や時代をまたいで受け継がれてきた技や型を自らの身体で実践し、そこに生じる変化や新たな伝承のあり方を探る新作映像やインスタレーションを発表します。

1990年東京都生まれ。ロイヤル・カレッジ・オブ・アート パフォーマンス学科修士課程修了。自身の身体を中性的な立体物として用い、性や人種的な固定概念に問いかけ、束縛や流動性を表現。また自由と平等の不確かな世界における制限的な社会的コードを疑い、人間の存在意義を探るパフォーマンス作品を発表する。2024年ACC個人フェローシップに採択され、香港で詠春拳のリサーチを行う。「TERRADA ART AWARD 2025」鷺田めるろ賞。



1



2

お問い合わせ：東京都現代美術館 事業企画課 企画係 広報班 工藤・内堀・永田・大塚

TEL：03-5245-1134（直通）/ FAX：03-5245-1141

E-MAIL：mot-pr@mot-art.jp URL：https://www.mot-art-museum.jp

※開催内容は、都合により変更になる場合がございます。

## ハラサオリ Saori Hala

1960年代にミュージカルダンサーとして日本やアメリカで活動した実父・原健にまつわるリサーチを起点に、家族の記憶の断章とそこに重なる時代の構造を捉えるパフォーマンス《Da Dad Dada》(2017 初演)の映像インスタレーションを展示します。時代や国境を越えて継承される記憶、その媒介経路としての身体を見つめ直します。

1988年東京都生まれ。ベルリン芸術大学舞踊科ソロパフォーマンス専攻修了。自らの身体、光、音、テキスト、ドローイングなどの複合メディアを用いた上演作品を制作する。デザイン理論や生態心理学を学んだ背景から、特定の環境下での知覚体験を振付的に再解釈し、上演がもつ現実性／虚構性と関連付けながら再配置することに取り組んでいる。2020-2021年アーツコミッション横浜アーティストフェロー。2025年よりセゾン文化財団舞踊部門アーティストフェロー。



3



4

## 乾真裕子 Mayuko Inui

豊玉姫（とよたまひめ）伝説と八百比丘尼（やおびく）に伝説を起点に、同様のモチーフを持つ世界各地の伝説をたどりながら、そこに描かれるジェンダー表象と、物語を語り継ぐ身体のあり方を考察します。歌や語りを通して、身体と時間、土地の関係をトランスナショナルな視点から捉える新作映像を発表します。

1997年大阪府生まれ。東京藝術大学大学院先端芸術表現専攻修了。大阪大学大学院人文学研究科現代日本学博士後期課程在籍。フェミニズムやクィア理論を手がかりに、自身の身体を用いたパフォーマンスや映像作品を制作。近年は、民話や昔話におけるジェンダー表象と、語り継がれながら変化していく歌や語りに関心を持っている。平成藝術賞（2020年）、CAF2021金澤韻審査員賞、第1回 BUG ART AWARD（2024年）ファイナリスト。



5



6

お問い合わせ：東京都現代美術館 事業企画課 企画係 広報班 工藤・内堀・永田・大塚

TEL：03-5245-1134（直通）/ FAX：03-5245-1141

E-MAIL：mot-pr@mot-art.jp URL：https://www.mot-art-museum.jp

※開催内容は、都合により変更になる場合がございます。

## 筒 | tsu-tsu

自らと同じ日に生まれた世界の約 35 万人を辿り、演じる《01.25.1997》シリーズの一環として、2026 年の米国横断をもとに制作した新作インスタレーションを発表します。筒 | tsu-tsu は、演技は終わらないと言います。偶然の一致だけで出会った他人がひとつの身体を通りつづける様を、演じた痕跡や舞台装置が語ります。



7

1997 年生まれ。ドキュメンタリーアクター。幼児期より修める日本舞踊から、身体が誰かの通り道になる感覚「筒（つつ）」を得る。実在の人物取材し、その思考と感情を演技でたどり・憶えるための技法を「ドキュメンタリーアクティング」と名づけ、発表している。2022 年、山梨県河口湖にアーティスト・ラン・レジデンス「6okken」を設立。2026 年 ACC ニューヨーク・フェローシップに採択、同年 IASPIS（ストックホルム）レジデント。「Forbes JAPAN 世界を変える 30 歳未満 30 人」（2023 年）。



8

## 関連プログラム

会期中にアーティストトーク、パフォーマンスなどの開催を予定しています。参加方法・詳細は当館ウェブサイトにて順次公開いたします。

## 基本情報

|       |                                                                                                                                     |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 展覧会名  | MOT アニュアル 2027 身を通す                                                                                                                 |
| 会 期   | 2027 年 2 月 20 日（土）－5 月 30 日（日）                                                                                                      |
| 休 館 日 | 月曜日（3 月 22 日、5 月 3 日は開館）、3 月 23 日、5 月 6 日                                                                                           |
| 開館時間  | 10:00－18:00（展示室入場は閉館の 30 分前まで）                                                                                                      |
| 会 場   | 東京都現代美術館 企画展示室 B2F                                                                                                                  |
| 主 催   | 東京都現代美術館（公益財団法人東京都歴史文化財団）                                                                                                           |
| 観 覧 料 | 一般 1,400 円／65 歳以上 980 円／大学生・専門学校生 880 円／中高生 560 円／小学生以下無料                                                                           |
| 問 合 せ | 03-5245-4111（代表）                                                                                                                    |
| W E B | <a href="https://www.mot-art-museum.jp/exhibitions/mot-annual-2026/">https://www.mot-art-museum.jp/exhibitions/mot-annual-2026/</a> |
| 企 画   | 権祥海（東京都現代美術館 学芸員）                                                                                                                   |

### 同時期開催の展覧会

2027 年 2 月 6 日（土）－5 月 16 日（日）  
ハンス・ハーケ：インフォメーション・フロー  
サンプライド財団との共催展

2027 年 2 月 20 日（土）－5 月 30 日（日） MOT コレクション

お問い合わせ：東京都現代美術館 事業企画課 企画係 広報班 工藤・内堀・永田・大塚  
TEL：03-5245-1134（直通）/ FAX：03-5245-1141  
E-MAIL：mot-pr@mot-art.jp URL：https://www.mot-art-museum.jp  
※開催内容は、都合により変更になる場合がございます。

## 広報図版の貸出について

---

広報用図版として9点をご用意しております。貸出をご希望の方は、下記の貸出条件をご確認の上、必要事項とあわせて図版番号をメール（[mot-pr@mot-art.jp](mailto:mot-pr@mot-art.jp)）にてご連絡ください。画像の利用は、展覧会の広報を目的とする新聞・雑誌その他のメディア（デジタルメディアを含む）の記事内の使用に限ります。

必要事項      御社名 / ご担当者名 / 貴媒体名（ジャンル） / 発売・放送予定日

### 貸出条件

- 画像には下記の作品情報（作家名・作品名・制作年・技法・コピーライト等）を併記してください。技法は省略可能です。
- 画像のトリミング、文字載せ、編集等の改変はご遠慮ください。
- 記事の掲載前に校正原稿をお送りください。記事の掲載後に掲載誌(紙)、URL、DVD等をお送りください。
- 画像データの二次使用はお断りしております。使用後はかならずデータを削除してください。

### 広報図版 作品クレジット一覧

#### 0 展覧会メインビジュアル

- 1 小林勇輝《詠春拳プロジェクト》2026年、新作映像の一場面 Video by Woomin Hyun
- 2 小林勇輝《Life of Athletics》2018年、パフォーマンス Photo by Yulia Skogoreva
- 3 ハラサオリ《Da Dad Dada》2021年、パフォーマンス Photo by Yulia Skogoreva
- 4 ハラサオリ《P wave》2025年、パフォーマンス Photo by Yunosuke Nakayama
- 5 乾真裕子、新作映像の一場面、2026年 Video by Akane Shirai
- 6 乾真裕子《葛の葉の歌》2023年、映像 ©乾真裕子
- 7 筒 | tsu-tsu《Backflow to the junction》2021年、映像 ©筒 | tsu-tsu
- 8 筒 | tsu-tsu《地上 on the land》2023年、パフォーマンス Photo by Hayato Itakura

---

お問い合わせ：東京都現代美術館 事業企画課 企画係 広報班 工藤・内堀・永田・大塚

TEL：03-5245-1134（直通） / FAX：03-5245-1141

E-MAIL：[mot-pr@mot-art.jp](mailto:mot-pr@mot-art.jp) URL：<https://www.mot-art-museum.jp>

※開催内容は、都合により変更になる場合がございます。